

主要産地における平成29年産水稻の生育状況等について 第13報 (8月14日現在)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (平成29年8月15日)

| 道府県 | 区分   | 生育状況等  |  |
|-----|------|--|--|
|     |      | 育苗・田植進行状況・生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋)  | 同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等 (抜粋)   |
| 北海道 | (全道) | 生育は、 <u>平年並に推移している(遅1日)</u> 。草丈は89.7cm(平年差+3.6cm)、葉数は11.0枚(平年差+0.3枚)、葉数は594本/m <sup>2</sup> (平年差-22本)で <u>いつれも平年並</u> 。<br>(北海道農政部 8月1日現在)   | ・8月の病害虫の発生量は、葉いもちと穂いもちはやや多、ウンカ類は平年並、フタオビコヤガは少、アヒゲホソドリカスミカメはやや多の予報<br>(北海道病害虫防除所 7月27日公表)   |
| 北海道 | (生育) | (空知) 生育は平年並に <u>進んでいる(遅2日)</u> 。草丈は92.9cm(平年差+5cm)、葉数は11枚(平年差±0枚)、葉数は611本/m <sup>2</sup> (平年差-13本)で <u>いつれも平年並</u> 。(空知総合振興局 8月1日現在)<br>(石狩) 生育は <u>順調である(早1日)</u> 。草丈は83.6cm(平年差-2.0cm)、葉数は11枚(平年差+0.5枚)、葉数は597本/m <sup>2</sup> (平年差-2本)と <u>いつれも平年並</u> 。(石狩総合振興局 8月1日現在)<br>(後志) 草丈は83.7cm(平年差-2.0cm)で平年並、葉数は11.2枚(平年差+0.4枚)で平年並、葉数は550本/m <sup>2</sup> (平年差-81.0本)で少ない。生育の遅速は±0日。(後志総合振興局 8月1日現在)<br>(胆振) 生育は平年並(早1日)。草丈は88.0cm(平年比1.1)、葉数は10.9枚(平年比1.0)、葉数は516.0本/m <sup>2</sup> (平年比1.0)で <u>いつれも平年並</u> 。(胆振総合振興局 8月1日現在)<br>(日高) 生育は平年並(早2日)。草丈は92.4cm(平年差+5.7cm)でやや長、葉数は11.3枚(平年差+0.5枚)で平年並、葉数は583.0本/m <sup>2</sup> (平年差+43.9本)でやや多。(日高総合振興局 8月1日現在)<br>(渡島) 生育は <u>概ね平年並に推移している(出穂遅1日)</u> 。草丈は79.9cm(平年比100%)で平年並、葉数は11.0枚(平年比103%)で平年並、葉数は553本/m <sup>2</sup> (平年比89%)で少。(渡島総合振興局 8月1日現在)<br>(檜山) 生育は平年よりやや遅れている(遅3日)。草丈は86.3cm(平年差-0.7cm)で平年並、葉数は10.8枚(平年差0.0枚)で平年並、葉数は592.0本/m <sup>2</sup> (平年差-31.1本)でやや少。(檜山振興局 8月1日現在)<br>(上川) 生育の遅速は平年並に推移している(遅速±0日)。草丈は88.7cm(平年比105%)で平年並、葉数は10.9枚(平年比101%)で平年並、葉数は604本/m <sup>2</sup> (平年比95%)でやや少。(上川総合振興局 8月1日現在)<br>(留萌) 生育は平年よりやや遅れている(遅4日)。草丈は88.6cm(平年差+4.2cm)で平年並、葉数は11.2枚(平年差+0.5枚)で平年並、葉数は472本/m <sup>2</sup> (平年差-40本)でやや少。(留萌振興局 8月1日現在)<br>(オホーツク) 生育は平年並(遅速±0日)。草丈は87.6cm(平年比108%)でやや長い、葉数は9.2枚(平年比99%)で平年並、葉数は546.9本/m <sup>2</sup> (平年比97%)で平年並。(オホーツク総合振興局 8月1日現在)   |  |
| 青森  | (生育) | ・8月10日現在の出穂状況は、 <u>県全体で92%で、平年に比べて1ポイント高かった</u> 。県全体の出穂最盛期は平年並の8月6日、<地域別出穂状況> 東青：88% 中青：90% 西青：97% 上北：89% 下北：54% 三八：91%<br>(青森県 8月8日付)   | ・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想<br>(農林水産省 7月26日付)<br>・8月の病害虫の発生量は、穂いもちはやや少ない、紋枯病は平年並と予報。斑点米カメムシ類、フタオビコヤガはやや多い、コバネイゴ、ウンカ類はやや少ない、コフメイガは少ないと予報。<br>(青森県病害虫防除所 7月26日公表) |
| 岩手  | (生育) | ・8月10日現在、 <u>県全体で84%の水田で出穂したとみられる</u> 。地帯別の出穂割合は、北上山上流84%、北上川下流87%、東部62%、北部64%である。<br>・ <u>県全体の出穂始期(10%出穂)は8月1日頃(平年差-2日)、出穂最盛期(50%出穂)は8月6日頃(平年差±0日)であり、出穂は平年並であった</u> 。<br>(岩手県 8月10日付)  | ・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想<br>(農林水産省 7月26日付)<br>・8月の病害虫の発生量は、穂いもちと紋枯病はやや多、斑点米カメムシ類(カスミカメムシ類)は多、フタオビコヤガは平年並、ウンカ類とツマグロコバネイゴは少の予報。<br>(岩手県病害虫防除所 7月27日付)          |
| 宮城  | (生育) | ・8月9日現在、59.359ha(水稲作付見込面積の92.3%)で <u>出穂が確認され、平坦地域では概ね穂揃期(県作付見込面積の95%で出穂)となっている</u> 。<br>(宮城県 8月10日付)<br>(仙台) 8月1日現在、水稲直播栽培技術普及展示ほでの調査の結果(大和町 湛水直播鉄コーティング ひとめほれ)、草丈は82.0cm(平年比102%)、葉数は516本/m <sup>2</sup> (平年比102%)、葉数は11.5枚(平年差-0.5枚)、葉色(GM値)は35.3(平年差+1.8)、幼穂長は20.9mm(平年差9.3mm)。<br>仙合管内の直播栽培ほ場の出穂期は、8月16日～19日と予想。<br>(宮城県仙台農業改良普及センター 8月3日付)<br>7月20日現在、生育はほぼ平年並で、生育調査ほ全地点で減数分裂期に達した。今後の気温が平年並で推移した場合、出穂期(管内全体の最盛期)は、平年より2日早い8月2日頃になる見込み。<br>ひとめほれ(管内平均)の草丈は70.2cm(平年比101%)、葉数は476本/m <sup>2</sup> (平年比103%)、葉数は12.2枚(平年差+0.4枚)、葉色(GM値)は33.0(平年差+0.5)、ササニシキ(管内平均)の草丈は74.8cm(平年比101%)、葉数は438本/m <sup>2</sup> (平年比85%)、葉数は12.1枚(平年差-0.1枚)、葉色(GM値)は33.2(平年差-1.6)。<br>(宮城県仙台農業改良普及センター 7月24日付)<br>(大崎) 7月20日現在、草丈及び葉数は平年並。葉数は、北部平坦ひとめほれ、山間高冷やまのしづく以外は平年を上回っている。葉色は西部丘陵のひとめほれ、まなむすめは平年を下回っており、その他は平年並～上回っている。<br>今後の気温が平年並で推移した場合北部平坦の出穂期は、7月28日～8月8日頃になる見込み。<br>(大崎農業改良普及センター 7月24日付)<br>(美里) 管内の平均出穂期は8月1日。<br>管内直播栽培(鉄コーティング湛水直播)展示ほ(小牛田)のひとめほれの生育概況は、草丈は84.6cm(前年比115%)、葉数は483本/m <sup>2</sup> (前年比75%)、葉数は12.0枚(平年差±0枚)、葉色(SPAD値)は36.5(前年差+2.8)、幼穂長は30.0mm(前年差-48.3mm)。直播栽培では減数分裂期に入っている。(美里農業改良普及センター 8月2日付)<br>7月20日の調査結果では、草丈はほぼ平年並、葉数は平年より少ない。葉数は鹿島台ササニシキでは平年より1枚多い。葉色はひとめほれは平年並。<br>7月21日現在、管内のひとめほれの出穂期は、5月5日移植で7月29日～8月2日、5月10日移植で8月1日～6日、5月15日移植で8月4日～8日、5月20日移植で8月7日～12日の見込み。(美里農業改良普及センター 7月24日付)<br>(原原) 7月20日現在、ひとめほれ(生育調査ほ3カ所平均)は、草丈はほぼ平年並、葉数は平年より多く、葉数も平年より多い状況。葉色は、前回調査から急に低下し、平年より淡く、ひとめほれの減数分裂期の期待葉色値を下回っている。幼穂長等から推測すると、ひとめほれ等の中品品種は減数分裂期を迎えており、出穂期は平年より1～2日早まり、7月31日～8月1日頃と見込まれる。「つや姫」は幼穂形成期になっており、出穂期は8月8～9日頃と見込まれる。<br>(原原農業改良普及センター 7月21日付)<br>(登米) 7月20日現在の生育状況は、平年に比べ、草丈は平年並、葉数は多い。葉数は平年並、ほ場によりばらつきがみられる。葉色は淡い。<br>直播栽培は、前年に比べ、草丈はほ場によりバラツキがみられるが、平年並。葉数はほ場によりバラツキがみられるが、多い。葉数は少なめ、生育はやや遅れ。葉色はやや淡め。<br>(宮城県米づくり推進米地方本部登米農業改良普及センター 7月24日付)<br>(石巻) 直播展示ほ(乾田直播/緑牛)の7月20日現在の生育状況は、草丈・葉数・葉色・葉色のいずれも平年を下回っている。4月下旬から5月上旬にかけて降雨がほとんどなかったため、出芽が遅れ、初期生育が緩慢だったことが影響していると考えられる。出芽期日は5月31日で平年(5月20日)より遅くなった。<br>その他の対象ほ場の生育状況は、苗立ち数は、乾田直播で90～157本/m <sup>2</sup> 、湛水直播で61～78本/m <sup>2</sup> で、目標となる苗立ち数(乾田直播：100～200本/m <sup>2</sup> 、鉄コーティング湛水直播：ひとめほれ60本/m <sup>2</sup> )を概ね確保している。7月20日調査の葉数は227～690本/m <sup>2</sup> となっており、ほとんどのほ場で十分な葉数を確保している。7月21日現在、ほとんどのほ場で幼穂形成始期に達している。<br>(石巻農業改良普及センター石巻地方米づくり推進本部 7月27日付)<br>7月20日現在の、生育調査ほの生育状況は、草丈は平年並になっている。葉数は、ひとめほれ(広瀬)を除いて概ね平年並になっている(平年比101%～110%)。葉色(SPAD値)は、平年並からやや低くなっている。幼穂長は27～94mmと平年並となっている。5月上旬田植のほ場ではすでに減数分裂始期(幼穂長30mm)に達している。<br>管内の平坦部の出穂期は、平年並の8月2日前後と予想される(7月23日現在)。<br>管内の平坦部、乾田直播展示ほの生育状況は、草丈・葉数・葉色は平年を下回っている。幼穂長は2.1mmで平年よりやや短くなっている。<br>(石巻農業改良普及センター石巻地方米づくり推進本部 7月25日付)<br>(本吉) 8月9日現在、気仙沼市本吉町の生育調査ほ(ひとめほれ)においては8月8日、南三陸町入谷の生育調査ほ(ササニシキ)においては8月1日にそれぞれ出穂期を迎えた。管内では8月2日に、出穂始期を迎え、8月7日に、出穂期を迎えた。8月9日現在の出穂状況は9%となっている。<br>直播栽培普及展示ほ(鉄コーティング湛水直播)の8月1日調査では、生育は順調に進んでおり、減数分裂期を迎えている。<br>(宮城県本吉農業改良普及センター 8月10日付) | ・8月の病害虫の発生量は、穂いもちはやや少、紋枯病は平年並、斑点米カメムシ類は多と予報。<br>(宮城県病害虫防除所 8月4日公表)<br>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想<br>(農林水産省 7月26日付)   |

注：この資料は、地方自治体及び出先機関等が各々のホームページで公表している資料について、一般及び関係者に周知することを目的として、米穀機構情報部が各公表資料の一部を抜粋し取り纏めたものです。各情報の詳細につきましては、末尾に明示している原資料を参照してください。

|     | 平年に対する遅速等  | 同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等(抜粋)  |
|-----|--|--|
| 秋 田 | <p>(鹿 角) 7月25日の定点調査では、草丈は73.5cm(平年比101%)と平年並、茎数は565本/m<sup>2</sup>(平年比108%)と平年よりやや多い、葉数は12.4葉(平年差+0.1葉)と平年並、葉色は40.8(平年比110%)と平年より濃い結果となった。<u>各地で出穂期をむかえており、鹿角管内での出穂期(盛期)は平年より3日早い8月3日となった。</u><br/>(8月4日付)</p> <p>(北秋田) 7月末の出穂状況は3.4%となっており、平年より遅れている。葉いもちの発生ほ場が散見され、穂いもちへの移行が懸念される。(8月3日付)</p> <p>(山 本) 7月14日現在の管内水稲定点調査(管内9地点、品種:あきたこまち)の生育は、草丈60.9cm(平年比96%)、葉数514本/m<sup>2</sup>(平年比96%)、葉数11.0葉(平年差-0.1)、葉色(SPAD値)43.6(平年比105%)となっている。(7月14日付)</p> <p>(秋 田) 8月4日現在、管内のあきたこまちは出穂期を迎えている(8月4日付)</p> <p>(由 利) <u>出穂進捗は、出穂期(50%)は管内全体では平年より1日遅い8月6日だったが、田植え時期や品種、地域により差が大きい状況。</u>(8月10日付)</p> <p>(仙 北) 7月25日現在の生育状況は、草丈74.3(平年比101%)、茎数481本/m<sup>2</sup>(平年比101%)、葉数11.9葉(平年差-0.2葉)、葉色40.6(平年比107%)で葉数から見ると、生育は平年並となっている。(7月28日付)</p> <p>(雄 勝) 8月10日現在、出穂期は終期を迎えている。(8月10日付)</p>  | <p>・8月の病害虫の発生量は、穂いもちはやや多い、紋枯病は平年並、セジロウカ、フタオビコヤガはやや少ない、斑点米カメムシ類(アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ)は多い、フタオビコヤガはやや少ない、アワヨトウは多いと予報<br/>(秋田県病害虫防除所 7月28日公表)</p> <p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想<br/>(農林水産省 7月26日付)</p>   |
| 山 形 | <p>・幼穂の発育状況から見た出穂は、「はえぬき」「つや姫」いずれも平年並と見込まれ、平垣部「はえぬき」では8月4日頃、「つや姫」では8月11日頃と見込まれる。<br/>(オールやまがた米づくり日本一運動本部 7月28日付)</p> <p>(東南村山) 管内出穂期は、はえぬきが8月4日頃、つや姫が8月10日頃となる見込み。<br/>(オールやまがた米づくり日本一推進運動村山地域本部村山農業技術普及課 7月31日付)</p> <p>7月20日現在、「つや姫」調査圃7ヶ所平均値の草丈、葉数はほぼ指標値並で、茎数はやや多く、葉色は濃い状況。出穂は平年並(8月9日)の見込み。<br/>(山形つや姫ブランド戦略推進本部村山地域本部 村山農業技術普及課 7月21日付)</p> <p>(東南置賜) 出穂期は概ね平年並となる見込み。<br/>(オールやまがた米づくり日本一運動置賜地域本部実践班 8月2日付)</p> <p>(酒田飽海) 7月10日現在、はえぬきの草丈は「平年並」、茎数は「やや多く」、葉数は「平年並」、葉色は「濃い」。ひとめぼれは、草丈は「やや短く」、茎数は「平年並」、葉数は「やや少なく」、葉色は「平年並」。つや姫は、草丈は「短く」、茎数は「平年並」、葉数は「やや少なく」、葉色は「平年並」。低温で少なく推移していた茎数は、「平年並」から「やや多く」まで回復している。葉色は、今回の調査では、やや濃いものの「しつかり中干し」で低下傾向。直播栽培は、引き続き生育量は不足。水田農業試験場(鶴岡市藤島)の幼穂調査によると、出穂は中生晩品種(ひとめぼれ、はえぬき)、晩生品種(つや姫、コンヒカリ)いずれも平年より1~2日遅いと予想。<br/>(庄内総合支庁酒田農業技術普及課 7月13日付)</p> <p>(北 村 山) 生育は、草丈は平年並、茎数はやや多く、葉色はやや濃い傾向にある。出穂期は平年並と予想。平垣部「はえぬき」8月7~9日、「つや姫」8月10~13日。<br/>(オールやまがた米づくり日本一運動 村山地域本部・村山総合支庁北村山農業技術普及課 7月21日付)</p> <p>(鶴岡田川) 7月19日現在、藤島にある水田農業試験場の調査では、出穂期は中生晩の「ひとめぼれ」、「はえぬき」は8月4日、晩生の「つや姫」、「コンヒカリ」は8月12日、平年より1~2日遅いと予想。<br/>(庄内総合支庁農業技術普及課 7月24日付)</p> <p>(最 上) <u>最上管内の出穂は、7月20日現在の見込みより早まり、ほぼ平年並となっている。既に早生品種は穂が出揃い、8月7日前後には「はえぬき」の出穂期となる。</u><br/>(最上総合支庁農業技術普及課 8月4日付)</p> <p>(西 村 山) 6月上中旬の低温の影響で生育がやや遅れていたが、7月の天候が高温・多照傾向であったことから生育も回復し、全般にはほぼ平年並に出穂を迎える見込み。<br/>(JAさがえ西村山 JAさがえ西村山水稲部会 村山総合支庁西村山農業技術普及課 7月24日)</p> | <p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想<br/>(農林水産省 7月26日付)</p> <p>・8月の病害虫の発生量は、穂いもちと紋枯病はやや少、斑点米カメムシ類とアワヨトウは多い予報<br/>(山形県病害虫防除所 7月26日公表)</p> <p>・斑点米カメムシ類の発生量が県下全域で多いと予報。7月後半(7月18日~19日)に実施した畦畔・農道におけるすくい取り調査(調査地点数:44か所)の結果、発生確認地点率は95.9%(平年:66.8%)と広範囲で発生が確認され、過去10か年で最も高い。<br/>(山形県病害虫防除所 7月26日公表)</p> |
| 福 島 | <p>・農業総合センターの調査では、<u>出穂期が平年より早まっている。草丈はやや長く、茎数は平年並からやや多い状況。</u><br/>(福島県農林水産部 8月4日付)</p>   | <p>・穂いもちの発生量は平年並、紋枯病はやや多い、稲こうじ病は平年並、斑点米カメムシ類の発生量はやや多いと予報<br/>(福島県病害虫防除所 7月21日公表)</p> <p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想<br/>(農林水産省 7月26日付)</p>  |
| 茨 城 | <p>&lt;水戸市 7月28日現在&gt;</p> <p>・5月1日移植 「あきたこまち」の出穂期は7月16日で平年並。「コンヒカリ」の出穂期は7月23日で平年より3日早い。</p> <p>・5月10日移植 「コンヒカリ」の出穂期は7月27日で平年より4日早い。<br/>(茨城県農業総合センター-農業研究所 7月31日付)</p> <p>(生育)</p> <p>&lt;龍ヶ崎 8月7日現在&gt;</p> <p>・4月27日移植 「あきたこまち」の出穂期は、平年より5日早い7月8日、「コンヒカリ」の出穂期は、平年より2日早い7月21日だった。発熟積算気温による「あきたこまち」の成熟期は、平年より5日早い8月14日と予測される。また、「コンヒカリ」の成熟期は、平年より1日早い8月28日と予測される。</p> <p>・5月8日移植 「あきたこまち」の出穂期は、平年より1日早い7月16日、「コンヒカリ」の出穂期は、平年より5日早い7月23日だった。発熟積算気温による「あきたこまち」の成熟期は、平年並の8月23日と予測される。また、「コンヒカリ」の成熟期は、平年より4日早い8月31日と予測される。<br/>(茨城県農業総合センター-農業研究所 8月10日付)</p>   | <p>・8月の穂いもちの発生量はやや少ない、斑点米カメムシ類の発生量は多いと予報(茨城県病害虫防除所 7月31日公表)</p> <p>・北関東で綿葉枯病(ヒメトビウカ)の発生が「多い」と予想<br/>(農林水産省 7月12日付)</p>   |
| 栃 木 | <p>&lt;普通植栽培(あさひの夢)8月3日調査結果&gt;</p> <p>・草丈は77.2cmで平年並、茎数は496本/m<sup>2</sup>で平年比111%と多い。</p> <p>・葉数は12.4で平年より0.2葉多く、葉色は4.3で平年並である。</p> <p>・葉色×葉数値は2.146で平年比119%と高い。</p> <p>・幼穂長は0.16cmで平年並である。</p> <p>&lt;早植栽培(コンヒカリ)8月3日調査結果&gt;</p> <p>・出穂期-種蒔期となっている。出穂期が平年よりも早まっており、成熟期も早まると考えられる。</p> <p>・収穫開始時期は、県南部が9月第6半旬、県中部が9月第1半旬、県北部(標高の高い地域を除く)が9月第2半旬からと予想される。</p> <p>・全体的に出穂期の葉色が平年よりもやや淡く、高温による胴割粒、白未熟粒の発生が懸念される。<br/>(栃木県農政経営技術課 8月8日付)</p>  | <p>・一部地域で葉いもちの多発生のほ場や進展型病斑が確認されている。感染好適条件が7月第5~6半旬に連続して見られる地域もあり、いもち病の多発生が懸念される。<br/>(栃木県農業環境指導センター 8月3日公表)</p> <p>・7月下旬~8月下旬のいもち病の発生量は平年並、綿葉枯病の発生量はやや多、斑点米カメムシ類は多いと予報<br/>(栃木県農業環境指導センター 7月21日公表)</p> <p>・北関東で綿葉枯病(ヒメトビウカ)の発生が「多い」と予想<br/>(農林水産省 7月12日付)</p>                            |

|    | 平年に対する遅速等   | 同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等（抜粋）   |
|----|---|---|
| 埼玉 | <p>&lt;センター内生育相 8月3日現在&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>早期栽培（5月2日播 コシヒカリ）は、草丈は出穂期調査では平年をやや下回った。これは、出穂が早まり、生育期間が短くなったためと考えられる。葉数は、初期から分けつが旺盛で強勢種の割合が高くなったと考えられ、最高分けつ期葉数は平年並であったものの、以降天折する弱小葉が少なく、平年を上回って推移した。幼穂分化以降も高温で経過したため、出穂期は平年より8日と著しく早かった。出穂期の予想穂数調査から、穂数は平年を上回ると思われる。また、出穂期以降、日平均気温27℃以上の高温が続いたことから、高温障害の発生が懸念される。</li> <li>早植栽培（5月19日播 彩のかがやき）は、草丈は平年並に回復した。葉数は先月から引き続き平年を上回って推移し、過剰茂気味の生育となっている。葉位も平年を上回って推移しており、主穂葉数が1枚増加すると予想される。</li> <li>幼穂長は、移植後70日調査で3.4cm（平年値2.00cm）となっており、出穂期は平年並からやや早く考えられる。</li> <li>普通栽培（6月26日播 キヌヒカリ）は、7月の高温多湿により、移植後30日調査では草丈、葉数、葉位も平年を上回り、順調な生育である。</li> </ul> <p>&lt;県内全般 8月3日現在&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>センター内同様、全般に順調な生育で葉数（穂数）が十分確保されている。</li> <li>早期栽培の出穂期は、生育前半の好天の影響で平年より5～7日程度早まった。</li> <li>早植栽培でも出穂期は平年より3～5日程度早まった。</li> <li>普通栽培や晩生品種の「彩のかがやき」では、幼穂形成期が平年より数日早まっている。</li> </ul> <p>（埼玉県農業技術研究センター 8月3日現在）</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>8月の病害虫の発生量は、穂いもちはやや少、紋枯病は多、もみ枯病、ヒメトビウカ、柄葉枯病、セジロウシはやや多、イネツトムシ（第2世代幼虫）はやや少、イネアムシは平年並、ツマグロヨコバイ、斑点米カメムシ類は平年並と予報（埼玉県病害虫防除所 7月27日公表）</li> <li>斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想（農林水産省 7月26日付）</li> </ul> |
| 千葉 | <p>（生育）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4月20日頃に播いた「ふさおとめ」、「ふさこがね」、「コシヒカリ」の出穂期は、平年と比較して2日から3日程度早くっており、成熟期は早いところで「ふさおとめ」は8月11日頃から、「ふさこがね」は8月16日頃から、「コシヒカリ」は8月24日頃からと予測される。</li> <li>また、5月1日頃に播いた「コシヒカリ」の出穂期は3日程度早くっており、成熟期は早いところで8月29日頃からと予測される。（千葉県農林水産部 7月28日付）</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>向こう1か月間の病害虫の発生量は、いもち病（穂いもち）は少、紋枯病はやや少、こま葉枯病は多、斑点米カメムシ類は平年並の予報（千葉県農林総合研究センター 8月10日公表）</li> <li>斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想（農林水産省 7月26日付）</li> </ul>   |
| 新潟 | <p>（生育・収穫）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>7月31日現在、出穂期は県平均で、こしいぶきでは平年並の7月30日、コシヒカリでは平年並の8月6日頃の見込み。コシヒカリの生育は、指標値に比べて草丈は「並」、葉数は「並」、葉数の進みは「並」、葉色は「並」の状況。（新潟県農林水産部 8月1日付）</li> <li>（岩 船）7月31日現在、コシヒカリの生育は、指標値と比較して、草丈は並、葉数は並、葉数は並、葉色は並。コシヒカリ（調査場所6ヶ所の平均）の生育状況は、草丈は87cm（指標値103%）、葉数は374本/m<sup>2</sup>（指標値99%）、葉数は13.0葉（指標値+0.2葉）、葉色（SPAD値）は33.6（指標値+0.6）。（村上農業普及指導センター 7月31日現在）</li> <li>（新発田）コシヒカリの生育概況（7月31日調査）は、草丈は88cm（指標値104%、並）、葉数は394本/m<sup>2</sup>（指標値107%、やや多）、葉数は13.2葉（指標値+0.4葉、やや多）、葉色は葉緑素計33.5（指標値±0、並）。指標値に比べ、草丈は並、葉数やや多、葉色は平年並に落ちている。出穂期は、止葉の葉耳間長調査から平年並の予想（5月10日頃移植→8月8日）。（新発田農業普及指導センター 7月31日付）</li> <li>（新潟）主要品種の収穫適期の目安（新潟） <ul style="list-style-type: none"> <li>ゆきん子舞、こしいぶきは9月1日。</li> <li>コシヒカリ（5月5日播）は9月11日、コシヒカリ（5月10日播）は9月13日、コシヒカリ（直播）は9月23日</li> <li>新之助は9月20日</li> </ul> （新潟農業普及指導センター 8月8日付） </li> <li>（巻）草丈、葉数、葉数、葉色はいずれも指標値並。穂肥の実施等により葉色は指標値並のほ場が多い。連休補えのコシヒカリは走り穂がでている。5/10以降田植えでは、出穂期は8月6日頃になると見られる。（巻農業普及指導センター 7月31日付）</li> <li>（三条）7月31日の調査結果（管内コシヒカリ35ヶ所）は、草丈は93cm（指標値106%）、葉数は385本/m<sup>2</sup>（指標値101%）、葉数は13.0葉（指標値±0.0葉）、葉色（SPAD）は34.5（指標値+0.4）。穂肥施用等により、葉色が回復し指標値並となっている。出穂期がやや早まり、こしいぶきで平年並となったが、地域差・ほ場差が大きい。管内のコシヒカリの出穂期は8月4日頃（平年並）と見込まれる。（三条農業普及指導センター 7月31日付）</li> <li>（長岡）こしいぶきの予想収穫適期は8月30日、コシヒカリ（移植）は9月11日。（長岡農業普及指導センター 8月10日付）</li> <li>（魚 沼）7月31日のコシヒカリ生育調査結果（4地点平均値）は、草丈89cm（指標値105%）、葉数375本/m<sup>2</sup>（指標値94%）、葉数は13.1葉（指標値+0.6葉）、葉色（SPAD値）34.0（指標値+0.5）。指標値に比べ、草丈はやや長い、葉数はやや少ない、葉数はやや早い、葉色は並。（魚沼農業普及指導センター 7月31日付）</li> <li>（南魚沼）7月31日現在の生育状況（管内調査地点の平均）は、草丈は86cm（指標値104%）で並、葉数は384本/m<sup>2</sup>（指標値105%）でやや多、葉数は13.2葉（指標値+0.5葉）でやや早い、葉色（SPAD値）は33.7（指標値+2.2）で濃い。草丈は79～92cm、葉数は31.5～39.5とバラツキが大きく、特に葉色が濃く草丈の長いほ場では倒伏の恐れがある。なお一部では葉色が濃いほ場も見られ栄養過剰が懸念される。（南魚沼地域農業振興協議会・南魚沼農業普及指導センター 8月2日付）</li> <li>（十日町）収穫適期のめやす <ul style="list-style-type: none"> <li>コシヒカリ（8月3日出穂）は9月14日、コシヒカリ（8月6日出穂）は9月18日、コシヒカリ（8月9日出穂）は9月22日。</li> <li>こしいぶきは9月7日、新之助は9月26日、あきだわらは10月2日。</li> </ul> （十日町農業普及指導センター） </li> <li>（柏 崎）7月31日現在、こしいぶきとコシヒカリの生育は順調。指標値と比較して、草丈は並、葉数は並～やや多い、葉数は並。こしいぶきの葉色は濃く、こしいぶきは平年並。こしいぶき（3ヶ所平均）の生育状況は、草丈は94cm（指標値106%）、葉数は393本/m<sup>2</sup>（指標値103%）、葉数は12.9枚（指標値+0.4枚）、葉色（SPAD）は38.8（指標値+2.8）。コシヒカリ（6ヶ所平均）の生育状況は、草丈は90cm（指標値100%）、葉数は407本/m<sup>2</sup>（指標値110%）、葉数は13.2枚（指標値+0.4枚）、葉色（SPAD）は31.8（指標値-0.2）。出穂期は、こしいぶきは7月27日、コシヒカリは8月6日頃の見込み。（柏崎農業普及指導センター 8月1日付）</li> <li>7月31日現在の新之助の生育状況は、葉数、葉色はほ場差がある。生育は前回の調査時より2日程度早い。出穂期は、管内平均で8月10日頃の見込み。生育状況（3ヶ所平均）は、草丈は80cm、葉数は480本/m<sup>2</sup>、葉数は13.6枚、葉色（SPAD）は34.5。（柏崎農業普及指導センター 7月31日付）</li> <li>（上 越）7月31日現在のコシヒカリの生育は、指標値と比較して、草丈は長い（指標値111%）、葉数は多い（指標値122%）、葉数は並（指標値+0.3葉）、葉色（SPAD値）はやや濃い（指標値+1.0）。葉色は、穂肥施用により維持されている。出穂期は平年並から1日程度早いと見込まれる（5/10～15の田植では8/3～4頃が出穂期の見込み）。「こしいぶき」は平年並に出穂している（5/10～15の田植では7/30頃が出穂期）。葉数は多く、葉色は濃くなっている。（上越農業普及指導センター 7月31日付）</li> <li>（糸魚川）7月31日現在、コシヒカリ（田植え日：5月2～22日）の生育状況は、指標値に比べ草丈は並、葉数は多い、葉数は並、葉色は濃い。現時点で穂ばらみ期～出穂期のほ場が多く、平年並の出穂期となる見込み。出穂期は概ね平年並、前年に比べ3日程度遅くなる見込み。出穂期予想（調査ほ）は、5月5日移植では8月3日頃、5月10日移植では8月5日頃、5月21日移植では8月11日頃の見込み。葉色は、穂肥の効果で前回調査から濃くなっている。一部、河川沿いの低地ほ場等で葉色の濃いほ場がみられる。（糸魚川地域農林振興部 8月1日付）</li> <li>（佐 渡）7月31日現在の生育状況（品種：コシヒカリ、拠点ほ場8ヶ所の平均）は、草丈は87cm（指標値102%）、葉数は372本/m<sup>2</sup>（指標値98%）、葉数は13.3葉（指標値-0.2葉）、葉色（SPAD値）は31.8（指標値-2.2）。出穂期は、こしいぶきは8月2日、コシヒカリは8月8日と予想される。（佐渡農業普及指導センター 7月31日付）</li> </ul> |   |

|    | 平年に対する遅速等   | 同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等（抜粋）  |
|----|---|--|
| 富山 | <p>&lt;生育観測データ（7月18日現在）&gt;</p> <p>（コンヒカリ）葉齢は平年並となっており、草丈、葉色は平年並、茎数は多く推移している。幼穂形成期は、平年並の7月12日となった。出穂期は、平年並の8月3日頃と見込まれる。<br/>草丈は80.7cm（平年比100%）、茎数は506本/m<sup>2</sup>（平年比112%）、葉齢は13.1（平年差+0.1）、葉色（SPAD値）は33.5（平年差+0.7）。</p> <p>（てんこもり）葉齢は平年よりやや進んでおり、草丈、葉色は平年並、茎数はやや多く推移している。幼穂形成期は、平年より2日早い7月13日となった。出穂期は、平年より2日早い8月5日頃と見込まれる。<br/>草丈は71.8cm（平年比98%）、茎数は584本/m<sup>2</sup>（平年比105%）、葉齢は14.2（平年差+0.2）、葉色（SPAD値）は36.0（平年差+1.0）。</p> <p>（てんたかく）5月5日移植の「てんたかく」の出穂期は、平年より1日遅い7月23日頃と見込まれる。成熟期は、平年より1日程度遅い、8月28日頃と見込まれる。<br/>（富山県農業技術課 広域普及指導センター 7月18日付）</p> <p>&lt;直播栽培の生育状況（7月18日現在）&gt;</p> <p>・湛水土中直播栽培（カルバー）は、葉齢は平年並となっており、草丈、茎数、葉色とも平年並に推移している。幼穂形成期は、平年より1日早い7月16日であった。出穂期は、平年より1日早い8月7日頃と見込まれる。</p> <p>・湛水表面直播栽培（鉄）は、近年に比べ葉齢はやや進んでおり、草丈、葉色は並、茎数はやや多くなっている。幼穂形成期は、近年より1日早い7月17日頃と見込まれる。出穂期は、近年より1日早い8月7日頃と見込まれる。</p> <p>・乾田V溝直播栽培は、平年に比べて葉齢がやや進んでおり、草丈、葉色は並、茎数は多くなっている。幼穂形成期は、平年より2日早い7月19日頃と見込まれる。出穂期は、平年より2日早い8月10日頃と見込まれる。<br/>（富山県農業技術課 広域普及指導センター 7月18日付）</p> | <p>・8月の病害虫の発生量は、穂いもちはやや少ない、紋枯病はやや多い、こま葉枯病は多いと予報。<br/>斑点米カメムシ類のアカヒゲホソミドリカスミカメ、アカスジカスミカメはやや多い、トゲシラホシカメムシは平年並と予報。<br/>ニカメイガ（第2世代）、ヒメトビウカ、セジロウカは平年並、ツマグロヨコバイはやや多い、トビウロウカ、イネアオムシは少ないと予報<br/>（富山県農林水産総合技術センター 7月28日公表）</p> <p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想<br/>（農林水産省 7月26日付）</p>    |
| 石川 | <p>・出穂期は、コンヒカリは、加賀地域は7月23日から出穂が見られており、7月24日～30日頃と予想され、平年に比べ2～3日程度早い。能登地域では、現在（7/28）出穂が始まっている圃場もみられ、7月29日～8月3日頃と予想され、平年並～2日程度早い。</p> <p>・草丈は、コンヒカリで平年比101%（加賀地域101%、能登地域102%）と並。</p> <p>・m<sup>2</sup>あたりの茎数は、コンヒカリは、401本/m<sup>2</sup>で平年比103%（加賀地域103%、能登地域101%）と並になっており、すでに出穂期を迎えている圃場が多いことから、穂数は平年並に確保される見込みである。<br/>（農林総合研究センター 7月28日調査）</p>  | <p>・8月上旬～8月下旬の病害虫の発生量は、穂いもち、紋枯病は平年並、斑点米カメムシ類は多、セジロウカ、コブノメイガは平年並、ツマグロヨコバイは多と予報<br/>（石川県農林総合技術センター 8月3日公表）</p> <p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想<br/>（農林水産省 7月26日付）</p>  |
| 福井 | <p>農試における出穂期以降の積算気温に基づく収穫期予想</p> <p>・ハナエチゼンは8月16日</p> <p>・コンヒカリは9月4日</p> <p>（水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 8月11日付）</p>  | <p>・8月の病害虫の発生量は平年と比較して、穂いもちは少ない、紋枯病はやや少ない、こま葉枯病は少ないと予報。<br/>斑点米カメムシ類、ツマグロヨコバイ（第2世代）、トビウロウカは平年並、セジロウカは少ない、フタオビコヤガ第3世代はやや多く、コブノメイガ、コバネイナゴは少ないと予報<br/>（福井県農業試験場病害虫防除室 7月31日公表）</p> <p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想<br/>（農林水産省 7月26日付）</p>   |
| 長野 | <p>・7月28日現在の生育状況は、豊科定点圃場（稚苗5月16日播）では「あきたこまち」が7月26日、「美山錦」が7月28日出穂期となった。早生種の出穂期は「平年より2日早」。 「コンヒカリ」は、平坦地では8月5日前後に出穂期を迎えると思われる。平坦地の早生種（あきたこまち、美山錦など）は7月下旬に出穂しており、向こう1ヶ月の気温は「平年並～高い」と予想されていることから、刈り取り開始や成熟期は「平年より早まる」と予想される。これらから出穂期を迎えるコンヒカリも同様の傾向になると思われる。<br/>（松本農業改良普及センター 平成29年度 作物技術普及情報 第12号）</p> <p>・7月30日～8月6日の調査の結果、農業試験場水稲試験圃（須坂市八重森（標高348m））の出穂期は、平年と比較して「あきたこまち」で3日遅く（7月30日）、「コンヒカリ」で同日（8月8日）である。<br/>（長野県農業試験場 8月9日）</p>   | <p>・8月10日からの向こう1か月間の病害虫の発生量は、穂いもちと紋枯病は平年並～やや少、白葉枯病はやや少、ツマグロヨコバイは平年並～やや少、セジロウカはやや少、カメムシ類（斑点米）はやや多、イネツトムシはやや少、イナゴは平年並と予報<br/>（長野県病害虫防除所 8月10日公表）</p> <p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想<br/>（農林水産省 7月26日付）</p>  |
| 滋賀 | <p>&lt;農業技術振興センター 水稲作況調査（7月20日時点）&gt;</p> <p>・草丈は、生育が早まっていることもあり、「コンヒカリ」では平年よりやや長く、「秋の詩」では平年並までになった。</p> <p>・茎数は、両品種ともに平年より多かった。</p> <p>・葉数は、両品種ともに平年並であった。</p> <p>・「コンヒカリ」の幼穂形成期は7月2日で平年より3日早く、出穂期は7月25日で平年より4日早かった。</p> <p>・「秋の詩」の幼穂形成期は7月11日で平年より7日早く、過去10年で最も早かった。</p> <p>&lt;「みずかがみ」の生育状況（7月25日時点）&gt;</p> <p>・5月2日移植では、出穂期は7月17日、成熟期は8月18日（予想）。</p> <p>・5月17日移植では、出穂期は7月25日、成熟期は8月26日（予想）。<br/>（滋賀県農業技術振興センター 7月27日付）</p>   | <p>・9月の病害虫の発生量は、穂いもちは平年並、紋枯病、白葉枯病はやや少、トビウロウカ、ツマグロヨコバイは平年並、斑点米カメムシ類はやや多、コブノメイガは少と予報<br/>（滋賀県病害虫防除所 8月1日公表）</p> <p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想<br/>（農林水産省 7月26日付）</p>   |
| 兵庫 | <p>・7月27日現在、県南部の生育は、草丈は平年より長く、茎数は平年並～やや多い。出穂は平年よりやや早くなる見込みである。<br/>県北部では、生育は、草丈は平年より短く、茎数がかなり多い。出穂はコンヒカリで平年より1週間程度早い。<br/>（兵庫県農政環境部 7月31日付）</p>   | <p>・8月10日からの向こう1か月間の病害虫の発生量は、穂いもちはやや少、紋枯病と細菌性病害（もみ枯細菌病・内穂萎縮病）はやや多、綿葉枯病は平年並、ヒメトビウカと斑点米カメムシ類はやや多、ツマグロヨコバイ、トビウロウカ、イネツトムシ、コブノメイガは平年並と予報<br/>（兵庫県病害虫防除所 8月10日公表）</p> <p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想<br/>（農林水産省 7月26日付）</p>   |
| 岡山 | <p>・7月28日現在の生育状況は、中北部（極早生・品種）では、出穂期は平年並～やや早い、穂数は平年並だが、高冷地ではやや少なめ。登熟期の高温が予想され、収穫期の前進が見込まれる。<br/>南部（中生・晩生品種）では、7月に入って高温で推移したことから、順調に分げつが増加し、茎数は平年並、現在、中生品種を中心に幼穂形成期を迎えており、出穂期の前進が予想される。<br/>（岡山県農林水産総合センター 岡山県農業気象技術連絡会議 7月28日付）</p>  | <p>・9月の病害虫の発生量は、穂いもちはやや多、穂いもち、白葉枯病、紋枯病はやや多、白葉枯病、穂枯れ（早生種・中生種）、ニカメイガ、トビウロウカは平年並、セジロウカ、イネモンシセシ、コブノメイガはやや少、カメムシ類は多と予報<br/>（岡山県病害虫防除所 8月4日公表）</p> <p>・出穂期以降県下全域で、斑点米カメムシ類（アカスジカスミカメ等）の発生量が多いと予報。<br/>（岡山県病害虫防除所 7月27日公表）</p> <p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想<br/>（農林水産省 7月26日付）</p> |
| 広島 |   | <p>・8月上旬～8月下旬の病害虫の発生量は、穂いもち（中生）はやや少、紋枯病（中南部）は多、トビウロウカは平年並、斑点米カメムシ類（中北部）は平年並、セジロウカはやや少、コブノメイガは少と予報<br/>（広島県西部農業技術指導所 8月9日付）</p> <p>・県南部、県中東部及び県西部では、紋枯病の発生が多い。<br/>（広島県農林水産局 8月1日付）</p> <p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想<br/>（農林水産省 7月26日付）</p>                                  |
| 山口 | <p>・5月移植のコンヒカリ・ひとめぼれでは、出穂期～穂満期以降になっている。<br/>出穂予想は、6月上旬移植のきめむすめで8月19日頃、6月上旬移植のヒメヒカリで8月26日頃の見込み。好天により、生育は早まっている。<br/>（JA長門大津、長門農林事務所農業部 8月1日付）</p>  | <p>・8月の病害虫の発生量は、穂いもちはやや多、紋枯病は平年並、セジロウカ、トビウロウカ、コブノメイガはやや少、斑点米カメムシ類は多の予報<br/>（山口県病害虫防除所 8月1日公表）</p> <p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想<br/>（農林水産省 7月26日付）</p>   |

|       | 平年に対する遅速等   | 同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等（抜粋）   |
|-------|---|---|
| 愛 媛   | <p>・8月は、早期コシヒカリ、短期あきたこまちは登熟期となる。普通期水稲は、幼穂形成期から出期を迎える。<br/>（愛媛県農林水産研究所 8月1日）</p> <p>（生育）</p>   | <p>・8月の病害虫の発生量は、早期栽培の穂いもちは少、普通期栽培の穂いもちはやや少、紋枯病、稲こじ病はやや少～平年並と予報。<br/>ツマグロヨコバイ、イチモンジセセリ（イネネットムシ：第2世代）、コブノメイガはやや少、セジロウカ、フタオビコヤ方はやや少～平年並、トビイロウカは平年並、斑点米カメムシ類はやや多～多と予報<br/>（愛媛県 7月31日公表）</p> <p>・四国で綿葉枯病（ヒメトビウカ）の発生が「多い」と予想<br/>（農林水産省 7月12日付）</p> |
| 高 知   | <p>・7月15日現在、早期栽培の作柄は『やや良』が見込まれる。（農林水産省 7月27日付）</p> <p>＜早期水稲の生育状況（6月30日時点）＞<br/>平年より早く最高分けつ期を迎えた。出穂期は、4月5日植え‘南国そだち’は6月19日であった。また、‘コシヒカリ’の出穂期は、4月5日植えが6月30日と平年より2日早かった。4月14日植えは平年並と予測。</p> <p>（生育）</p> <p>＜普通期栽培の生育状況（6月30日時点）＞<br/>普通期栽培では、例年どおり6月3日に‘ヒノヒカリ’を移植した。草丈が平年よりも低く、茎数が平年よりも多くなっている。葉齢でみた生育進捗は平年より早くなっており、順調に生育している。<br/>草丈は40.8cm（平年値41.1cm）、茎数は391本/m<sup>2</sup>（平年値361本）、葉齢は8.6（平年値8.3）<br/>（高知県農業技術センター）</p> | <p>・8月の病害虫の発生量は、穂いもちは少、こま葉枯病は多、ツマグロヨコバイは県西部で多、県東部と県中西部でやや多、県中部で平年並と予報。<br/>ヒメトビウカは、県中西部、県西部で多、県中部でやや多、県東部で少と予報。<br/>セジロウカ、トビイロウカは少と予報<br/>（高知県病害虫防除所 8月3日公表）</p> <p>・四国で綿葉枯病（ヒメトビウカ）の発生が「多い」と予想<br/>（農林水産省 7月12日付）</p>                        |
| 福 岡   | <p>・7月25日現在における水稲の生育は、草丈は平年より9～21%高く、茎数は調査場所により異なり、農産部（筑紫野市）では5～6%少なく、筑後分場（三浦郡大木町）では18～24%多かった。主穂葉数は平年より0.7～0.9葉多く、生育は進んでいる。<br/>（福岡県 福岡県米委品質改善協会 7月27日付）</p> <p>（生育）</p>   | <p>・8月の病害虫の発生量は、葉いもちは少、セジロウカはやや少、トビイロウカはやや多、コブノメイガは少と予報<br/>（福岡県病害虫防除所 8月1日公表）</p> <p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想<br/>（農林水産省 7月26日付）</p>   |
| 熊 本   |   | <p>・8月の病害虫の発生量<br/>早植え水稲－穂いもちはやや少、トビイロウカは並、斑点米カメムシ類は並、紋枯病はやや少と予報<br/>早植え・普通期水稲－コブノメイガはやや少と予報<br/>普通期水稲－葉いもちはやや少、トビイロウカは平年並、紋枯病は並と予報<br/>（熊本県病害虫防除所 7月31日公表）</p> <p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想<br/>（農林水産省 7月26日付）</p>                                |
| 宮 崎   | <p>・7月15日現在、早期栽培の作柄は『良』が見込まれる。（農林水産省 7月27日付）</p> <p>（作柄）</p>  | <p>・向こう1か月間の普通期水稲の病害虫の発生量は、葉いもち、紋枯病は平年並、ツマグロヨコバイはやや多、セジロウカは少、トビイロウカは並、ヒメトビウカはやや多、コブノメイガはやや少と予報。<br/>（宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 7月28日公表）</p> <p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想<br/>（農林水産省 7月26日付）</p>  |
| 鹿 児 島 | <p>・7月15日現在、早期栽培の作柄は『良』が見込まれる。（農林水産省 7月27日付）</p> <p>（作柄）</p>  | <p>・斑点米カメムシ類の発生が「多い」と予想<br/>（農林水産省 7月26日付）</p> <p>・8月の病害虫の発生量は、普通期水稲の葉いもち、穂いもち、トビイロウカはやや多、紋枯病は平年並、コブノメイガはやや少と予報。（鹿児島県病害虫防除所 7月27日公表）</p>  |

注1：地方自治体及び出先機関等がホームページで公表している資料を採録機関情報部で取り纏め。  
注2：生産数量目標、収穫量、作況については、農林水産省の公表資料から抜粋。

| 道府県   | 備考<br>気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）  | 生産数量目標    |           |         |              |           | 収穫量（主食用）<br>28年産 | 作況指数<br>28年産 |
|-------|--|-----------|-----------|---------|--------------|-----------|------------------|--------------|
|       |  | 生産数量目標    |           |         | 参考           |           |                  |              |
|       |  | 平成29年産    | 前年産との比較   | 増減率     | 自主的取組参考値（深堀） |           |                  |              |
|       | t  | t         | %         |         |              |           |                  |              |
| 全 国   | <p>・8月12日～9月11日の1か月間は、太平洋側を中心に気温がかなり低くなる見込みで、北日本の向こう1か月の気温も低い見込み。東日本の気温は平年並か高く、西日本の気温は高い見込み。降水量は、北日本ではほぼ平年並、東・西日本では平年並か多い見込み。</p> <p>日照時間は、北・東日本太平洋側では少なく、北日本日本海側ではほぼ平年並、東日本日本海側と西日本では平年並か少ない見込み。</p> <p>（気象庁 8月10日発表）</p> <p>（8～10月の3か月間の見通し）</p> <p>・向こう3か月の気温は高い見込み。東・西日本では、向こう3か月の降水量は、平年並か少ない見込み。北日本は、ほぼ平年並の見込み。</p> <p>（気象庁 7月25日発表）</p>   | 7,350,000 | ▲ 80,000  | ▲ 1.1   | 7,330,000    | 7,496,000 | 103              |              |
| 北 海 道 | <p>・北海道地方の8月12日～9月11日の1か月間は、オホーツク海側と太平洋側では、期間の前半は気温が平年よりかなり低く、向こう1か月の気温は平年より低い見込み。日照時間は少なく、降水量はほぼ平年並の見込み。</p> <p>日本海側では、気温は平年並か低く、降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。</p> <p>（札幌管区気象台 8月10日発表）</p> <p>・「低温に関する異常天候早期警戒情報」</p> <p>北海道オホーツク海側、北海道太平洋側では、8月15日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり低くなる見込み。</p> <p>（7日平均地域平年差-2.7℃以下）</p> <p>（札幌管区気象台 8月10日発表）</p>  |           | ▲ 541,500 | ▲ 100.0 | 534,212      | 545,500   | 102              |              |
| 青 森   | <p>・東北地方の8月12日～9月11日の1か月間は、東北太平洋側では、北部を中心に気温がかなり低くなり、向こう1か月の平均気温は、東北太平洋側では平年より低く、東北日本海側では平年並か低い見込み。</p> <p>降水量は、東北日本海側ではほぼ平年並、東北太平洋側では平年並か多い見込み。</p> <p>日照時間は、東北日本海側ではほぼ平年並、東北太平洋側では期間の前半は少ない状態が続く。</p> <p>向こう1か月間は少ない見込み。</p> <p>（仙台管区気象台 8月10日発表）</p> <p>・「低温に関する異常天候早期警戒情報」</p> <p>東北太平洋側では、8月15日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり低くなる見込み。</p> <p>（7日平均地域平年差-2.3℃以下）</p> <p>（仙台管区気象台 8月10日発表）</p> | 237,294   | ▲ 2,583   | ▲ 1.1   | 236,649      | 222,300   | 104              |              |
| 岩 手   | 同上（仙台管区気象台 8月10日発表）  | 265,432   | ▲ 2,889   | ▲ 1.1   | 264,710      | 254,300   | 102              |              |
| 宮 城   | 同上（仙台管区気象台 8月10日発表）  | 341,193   | ▲ 3,713   | ▲ 1.1   | 340,264      | 352,300   | 105              |              |
| 秋 田   | 同上（仙台管区気象台 8月10日発表）  | 408,644   | ▲ 4,448   | ▲ 1.1   | 407,532      | 409,600   | 104              |              |
| 山 形   | 同上（仙台管区気象台 8月10日発表）  | 337,160   | ▲ 3,670   | ▲ 1.1   | 336,243      | 345,300   | 103              |              |
| 福 島   | 同上（仙台管区気象台 8月10日発表）  | 332,316   | ▲ 3,617   | ▲ 1.1   | 331,412      | 333,600   | 102              |              |
| 茨 城   | <p>・関東甲信地方の8月12日～9月11日の1か月間は、気温は平年並の見込み。日照時間の少ない状態が続いており、向こう1か月の日照時間は少なく、降水量は平年並か多くなる見込み。</p> <p>（気象庁 8月10日発表）</p>   | 330,182   | ▲ 3,594   | ▲ 1.1   | 329,284      | 350,100   | 99               |              |
| 栃 木   | 同上（気象庁 8月10日発表）  | 4         | ▲ 295,504 | ▲ 100.0 | 291,531      | 295,300   | 102              |              |
| 埼 玉   | <p>・荒川では、7月21日から20%の取水制限（農薬用水）が実施されている。</p> <p>（国土交通省 8月14日現在）</p>   | 148,047   | ▲ 1,612   | ▲ 1.1   | 147,644      | 154,100   | 101              |              |
| 千 葉   | 同上（気象庁 8月10日発表）  | 241,239   | ▲ 2,625   | ▲ 1.1   | 240,582      | 295,900   | 102              |              |
| 新 潟   | <p>・北陸地方の8月12日～9月11日の1か月間は、気温は平年並か高く、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。</p> <p>（新潟地方気象台 8月10日発表）</p>  | 510,184   | ▲ 5,553   | ▲ 1.1   | 508,796      | 589,700   | 108              |              |
| 富 山   | 同上（新潟地方気象台 8月10日発表）  | 181,695   | ▲ 1,977   | ▲ 1.1   | 181,200      | 191,300   | 106              |              |
| 石 川   | 同上（新潟地方気象台 8月10日発表）  | 120,996   | ▲ 1,317   | ▲ 1.1   | 120,667      | 123,900   | 104              |              |
| 福 井   | 同上（新潟地方気象台 8月10日発表）  | 122,787   | ▲ 1,337   | ▲ 1.1   | 122,453      | 126,300   | 104              |              |
| 長 野   | <p>・関東甲信地方の8月12日～9月11日の1か月間は、気温は平年並の見込み。日照時間の少ない状態が続いており、向こう1か月の日照時間は少なく、降水量は平年並か多くなる見込み。</p> <p>（気象庁 8月10日発表）</p>   | 189,867   | ▲ 2,066   | ▲ 1.1   | 189,350      | 197,800   | 101              |              |

| 気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋） |   | t       | t       | %     | t       | t       | t   |
|-----------------------|---|---------|---------|-------|---------|---------|-----|
| 滋 賀                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>近畿地方の8月12日～9月11日の1か月間は、気温は高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。<br/>（大阪管区気象台 8月10日発表）</li> <li>「高温に関する異常天候早期警戒情報」<br/>近畿地方では、8月21日頃からの約1週間、気温が平年よりかなり高くなる見込み。<br/>（7日平均地域平年差+1.6℃以上）<br/>（大阪管区気象台 8月14日発表）</li> </ul>                            | 157,032 | ▲ 1,709 | ▲ 1.1 | 156,604 | 161,300 | 104 |
| 兵 庫                   | 同上（大阪管区気象台 8月14日発表、8月10日発表）   | 176,596 | ▲ 1,922 | ▲ 1.1 | 176,115 | 177,400 | 100 |
| 岡 山                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>中国地方の8月12日～9月11日の1か月間は、2週目、3～4週目の気温は高く、向こう1か月を平均した気温も高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。<br/>（広島地方気象台 8月10日発表）</li> <li>「高温に関する異常天候早期警戒情報」<br/>中国地方では、8月21日頃からの約1週間、気温が平年よりかなり高くなる見込み。<br/>（7日平均地域平年差+1.8℃以上）<br/>（広島地方気象台 8月14日発表）</li> </ul> | 155,172 | ▲ 1,689 | ▲ 1.1 | 154,750 | 155,600 | 101 |
| 広 島                   | 同上（広島地方気象台 8月14日発表、8月10日発表）   | 127,201 | ▲ 1,384 | ▲ 1.1 | 126,855 | 124,300 | 102 |
| 山 口                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>九州北部地方（山口県含む）の8月12日～9月11日の1か月間は、気温は高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。<br/>（福岡管区気象台 8月10日発表）</li> <li>「高温に関する異常天候早期警戒情報」<br/>九州北部地方（山口県含む）は、8月21日頃からの約1週間、気温が平年よりかなり高くなる見込み。<br/>（7日平均地域平年差+1.5℃以上）<br/>（福岡管区気象台 8月14日発表）</li> </ul>           | 106,443 | ▲ 1,158 | ▲ 1.1 | 106,153 | 101,400 | 102 |
| 愛 媛                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>四国地方の8月12日～9月11日の1か月間は、期間のはじめは気温の高い状態が続き、向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。<br/>（高松地方気象台 8月10日発表）</li> <li>「高温に関する異常天候早期警戒情報」<br/>四国地方では、8月19日頃からの約1週間、気温が平年よりかなり高くなる見込み。<br/>（7日平均地域平年差+1.5℃以上）<br/>（高松地方気象台 8月14日発表）</li> </ul> | 72,345  | ▲ 788   | ▲ 1.1 | 72,148  | 72,100  | 102 |
| 高 知                   | 同上（高松地方気象台 8月14日発表、8月10日発表）<br><br><ul style="list-style-type: none"> <li>吉野川では、6月17日から20%の取水制限（農業用水）が実施されている。<br/>（国土交通省 8月14日現在）</li> </ul>   | 49,003  | ▲ 534   | ▲ 1.1 | 48,870  | 53,100  | 100 |
| 福 岡                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>九州北部地方（山口県含む）の8月12日～9月11日の1か月間は、気温は高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。<br/>（福岡管区気象台 8月10日発表）</li> <li>「高温に関する異常天候早期警戒情報」<br/>九州北部地方（山口県含む）は、8月21日頃からの約1週間、気温が平年よりかなり高くなる見込み。<br/>（7日平均地域平年差+1.5℃以上）<br/>（福岡管区気象台 8月14日発表）</li> </ul>           | 178,582 | ▲ 1,944 | ▲ 1.1 | 178,097 | 177,400 | 100 |
| 熊 本                   | 同上（福岡管区気象台 8月14日発表、8月10日発表）   | 185,277 | ▲ 2,016 | ▲ 1.1 | 184,773 | 171,300 | 102 |
| 宮 崎                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>九州南部地方の8月12日～9月11日の1か月間は、気温は高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。<br/>（鹿児島地方気象台 8月10日発表）</li> <li>「高温に関する異常天候早期警戒情報」<br/>九州南部地方は、8月19日頃からの約1週間、気温が平年よりかなり高くなる見込み。<br/>（7日平均地域平年差+1.0℃以上）<br/>（鹿児島地方気象台 8月14日発表）</li> </ul>                       | 91,606  | ▲ 997   | ▲ 1.1 | 91,357  | 77,200  | 100 |
| 鹿 児 島                 | 同上（鹿児島地方気象台 8月14日発表、8月10日発表）  | 108,704 | ▲ 1,183 | ▲ 1.1 | 108,408 | 97,600  | 100 |

出所(原資料):

平成29年度産米の都道府県別の生産数量目標について(農林水産省)  
平成28年度産米の収穫量(農林水産省)  
平成29年度病害虫発生予報第5号(農林水産省 7月26日)  
平成29年度産米の西南暖地における早期栽培等の作柄概況(7月15日現在)(農林水産省 7月27日)

農作物の生育状況 8月1日現在(北海道 8月4日)、農作物生育状況 8月1日現在(北海道空知総合振興局 8月4日)、農作物の生育状況 8月1日現在(北海道石狩振興局 8月4日)、農作物の生育状況 8月1日現在(北海道後志総合振興局 8月4日)、農作物の生育状況 8月1日現在(北海道胆振総合振興局 8月4日)、農作物の生育状況 8月1日現在(北海道日高振興局 8月4日)、農作物の生育状況 8月1日現在(北海道渡島総合振興局 8月4日)、農作物の生育状況 8月1日現在(北海道檜山振興局 8月4日)、農作物の生育状況 8月1日現在(北海道上川総合振興局 8月4日)、農作物生育状況調査の概要 8月1日現在(北海道留萌振興局 8月4日)、農作物の生育と農作業の進捗状況 8月1日現在(北海道オホーツク総合振興局 8月4日)、平成29年度病害虫発生予報第11号8月予報(北海道病害虫防除所 7月27日)、8月10日現在水稲出穂状況(青森県 8月14日)、平成29年度病害虫発生予報第5号(8月予報)(青森県病害虫防除所 7月26日)、水稲の出穂状況(8月10日現在概況速報)について(岩手県 8月10日)、平成29年度農作物病害虫発生予報情報発生予報第5号(8月予報)(岩手県病害虫防除所 7月27日)、平成29年度産米の出穂状況について(8月9日現在)(宮城県農林水産部 8月10日)、仙台直播情報平成29年度版第2号(宮城県仙台農業改良普及センター 8月3日)、仙台稲作情報第6号(宮城県仙台農業改良普及センター 7月24日)、平成29年度産米里地区の稲作情報第7号(宮城県美里農業改良普及センター 8月2日)、平成29年度産米里地区の稲作情報第6号(宮城県美里農業改良普及センター 7月24日)、登米地域の稲作通信第7号(宮城県米づくり推進登米地方本部登米農業改良普及センター 7月24日)、栗原の稲作通信平成29年第6号(栗原農業改良普及センター 7月21日)、平成29年度大崎稲作情報第4-2号(宮城県大崎農業改良普及センター 7月24日)、直播情報(Vol.1)(石巻農業改良普及センター石巻地方米づくり推進本部 7月27日)、稲作情報(Vol.6)(石巻農業改良普及センター石巻地方米づくり推進本部 7月25日)、平成29年度産米仙沼・南三陸稲作情報第8号(宮城県本吉農業改良普及センター 8月10日)、平成29年度発生予報情報発生予報第8号-水稲(宮城県病害虫防除所 8月4日)、生育状況の情報(秋田県ホームページ「まちチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/> 8月10日)、平成29年度農作物病害虫発生予報情報発生予報第4号(8月予報)(秋田県病害虫防除所 7月28日)、米づくり技術情報No.8(オールやまがた米づくり日本一運動本部 7月28日)、おいしい米づくり情報第9号(オールやまがた米づくり日本一推進運動村山地域本部村山農業技術普及課 7月31日)、おきたま米づくり情報No.7(オールやまがた米づくり日本一運動置賜地域本部実践班 8月2日)、つや姫通信第6号(村山総合支庁農業技術普及課 7月21日)、稲作だより～第8号～(オールやまがた米づくり日本一運動村山地域実践本部(北村山農業技術普及課 7月21日)、つや姫だより第3号(村山総合支庁北村山農業技術普及課 7月6日)、おいしい米づくり情報第11号(庄内総合支庁農業技術普及課 7月24日)、稲作だより緊急対策号(オールやまがた米づくり日本一運動最上地域本部 最上総合支庁農業技術普及課 8月4日)、稲作だより第7号(JAさかえ西村山JAさかえ西村山水稲部会 村山総合支庁西村山農業技術普及課 7月24日)、酒田・飽海日本一米づくり情報第8号(庄内総合支庁酒田農業技術普及課 7月13日)、平成29年度農作物有害動物発生予報情報発生予報第5号(8月)(山形県病害虫防除所 7月26日)、平成29年度農作物有害動物発生予報情報注意報第1号(山形県病害虫防除所 7月20日)、主要な農作物の生育情報平成29年度第5号(福島県農林水産部 8月4日)、平成29年度病害虫発生予報情報発生予報第4号(7月)(福島県病害虫防除所 7月21日)、農研速報 水稲の生育状況(7月28日現在、水戸市)(茨城県農業総合センター 7月31日)、農研速報 水稲の生育状況(8月7日現在、龍ヶ崎市)(茨城県農業総合センター 8月10日)、病害虫発生予報8月号(茨城県病害虫防除所 7月31日)、平成29年度水稲生育診断予測事業速報No.6(普通植栽培8月3日調査結果)(栃木県 8月8日)、植物防疫ニュース(速報No.7)(栃木県農業環境指導センター 8月3日)、平成29年度病害虫発生予報第4号(栃木県農業環境指導センター 7月21日)、平成29年度水稲の生育概況vol.3(平成29年8月3日現在)(埼玉県農業技術研究センター 8月8日)、平成29年度病害虫発生予報第4号(8月予報)(埼玉県病害虫防除所 7月27日)、水稲の生育状況と当面の対策第6報(千葉県農林水産部 7月28日)、平成29年度病害虫発生予報第5号(千葉県農林総合研究センター 8月10日)、水稲の生育状況と今後の管理対策(第8号)(新潟県農林水産部 8月1日)、H29岩船米生育速報(7月31日現在)(村上農業普及指導センター 7月31日)、新発田地域水稲生育速報No.8(新発田農業普及指導センター 7月31日)、技術情報No.7(新潟農業普及指導センター 8月8日)、水稲生育速報(巻農業普及指導センター 7月31日)、FAX稲作情報No.11(三条農業普及指導センター 7月31日)、稲作情報No.7(長岡農業普及指導センター 8月10日付)、コシヒカリ生育情報(魚沼農業普及指導センター 7月31日)、稲作情報No.10(南魚沼地域農業振興協議会・南魚沼農業普及指導センター 8月2日)、収穫適期のめやす(平田地域)(十日町地域)(十日町農業普及指導センター)、稲作管理情報No.7(柏崎農業普及指導センター 8月1日)、柏崎地域新之助栽培情報No.8(柏崎農業普及指導センター 7月31日)、平成29年上越地域米コシヒカリ・こしいぶき生育速報(7月31日)(上越農業普及指導センター)、平成29年度稲作生育速報No.7(佐渡農業普及指導センター 7月31日)、平成29年度糸魚川売れる米づくりコシヒカリ生育情報No.7(糸魚川地域農林振興部 8月1日)、平成29年度新潟県病害虫発生予報情報・予報第6号(8月の発生予想)(新潟県病害虫防除所 7月31日)、TACS情報第8号(富山県農業技術課 広域普及指導センター 7月18日)、直播情報(第6号)(富山県農業技術課 広域普及指導センター 7月18日)、病害虫発生予報第5号(富山県農林水産総合技術センター 7月28日)、平成29年度産米水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-9号)(石川県農林総合研究センター 7月28日)、病害虫発生予報第5号(石川県農林総合研究センター 8月3日)、稲作情報No.14(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会(農業試験場、福井米戦略課、組合員トータルサポートセンター、JA経済連、主要農作物振興協会) 8月11日)、平成29年度農作物病害虫発生予報第6号(福井県農業試験場 7月31日)、平成29年度 作物技術普及情報 第12号(出穂予測、刈り取り開始予測、高温障害対策)(松本農業改良普及センター)、水稲の生育状況(平成29年度)(長野県農業試験場 8月6日)、病害虫発生予報第5号(長野県病害虫防除所 8月10日)、平成29年度水稲生育診断情報No.4(滋賀県農業技術振興センター 7月27日)、平成29年度病害虫発生予報第8号(滋賀県病害虫防除所 8月1日)、平成29年度兵庫県農業気象技術情報第4号(8月情報)について(兵庫県農政環境部 7月31日)、平成29年度病害虫発生予報第4号(兵庫県病害虫防除所 8月10日)、生育情報No.1水稲における当面の技術対策について(岡山県農林水産総合センター 岡山県農業気象技術連絡会議 7月28日)、平成29年度病害虫発生予報注意報第1号(岡山県病害虫防除所 7月27日)、平成29年度病害虫発生予報第5号(岡山県病害虫防除所 8月4日)、平成29年度広島県病害虫発生予報情報予報第7号(水稲)(広島県西部農業技術指導所 8月9日)、平成29年度病害虫発生予報情報注意報第1号(広島県農林水産局 8月1日)、稲作ワンポイントアドバイス(No.6)(JA長門大津、長門農林事務所農業部 8月1日)、農作物病害虫発生予報8月(山口県病害虫防除所 8月1日)、気象情報に基づく技術対策・作物平成29年8月(愛媛県農林水産研究所 8月1日)、病害虫発生予報(8月)(愛媛県 7月31日)、平成29年度における水稲(早期・普通期)の生育状況(6月30日時点)(高知県農業技術センター 6月30日)、平成29年度病害虫発生予報第5号(8月)(高知県病害虫防除所 8月3日)、福岡県米麦大豆生産改善速報第3号(福岡県 福岡県米麦品質改善協議会 7月27日)、平成29年度病害虫発生予報第5号(8月)(福岡県病害虫防除所 8月1日)、平成29年度病害虫発生予報第5号(8月予報)(熊本県病害虫防除所 7月31日)、平成29年度病害虫発生予報第4号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 7月28日)、平成29年度病害虫発生予報第5号(8月)(鹿児島県病害虫防除所 7月27日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(札幌管区気象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(仙台管区気象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(気象庁)、北陸地方こう1か月の天候の見通し(新潟地方気象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(大阪管区気象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(広島地方気象台)、四国地方こう1か月の天候の見通し(高松地方気象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(福岡管区気象台)、九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(鹿児島地方気象台) 全国向こう3か月の天候の見通し(気象庁)、全国向こう1か月の天候の見通し(気象庁)、異常天候早期警戒情報(札幌管区気象台、仙台管区気象台 8月10日)、異常天候早期警戒情報(大阪管区気象台、広島地方気象台、高松地方気象台、福岡管区気象台、鹿児島地方気象台 8月14日)、平成29年度渇水状況について(8月14日現在)(国土交通省)、